

受講者募集のお知らせ

変わっていく脳

講義概要

21世紀に入り、脳は従来考えられていた以上に環境や学習によって変化していくものであることが認識されつつあります。本講座では、脳機能の主体である神経細胞やそれらを繋ぐ神経ネットワークの仕組み、生きている脳の観察などを通じてダイナミックに変化する脳の仕組みをそれぞれの研究分野のエキスパートに概説して頂くことにより、「脳のはたらき」を理解していただければと考えています。

- 日 時 10月10日～11月21日 毎週木曜日 合計7回
18:30～20:00
- 会 場 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター セミナーホール
(新潟市中央区旭町通1-757)
- 対象者 市民一般
- 定 員 50人
- 受講料 7,200円
- 申込締切 10月7日(月)



講義内容

日 程	講義 題 目	講 義 内 容	講 師
10月10日(木) 18時15分～18時30分まで開講式を行います。			
10月10日(木) 18時30分～20時	脳とその可塑性	脳は絶え間なく環境に応じて最適の処理システムを作り上げており、これは「脳の可塑性」と言われます。本講座では、今後の講義の基礎知識となる脳の働きを可塑性にポイントをあてて概説します。	脳研究所 附属統合脳機能 研究センター 教授 五十嵐 博 中
10月17日(木) 18時30分～20時	神経細胞はどんな方法で情報伝達をするのか	脳の情報処理を担う神経細胞、どの様にして働くのか、その作動原理についてその研究方法と併せて解説します。	脳研究所 教授 崎 村 建 司
10月24日(木) 18時30分～20時	脳の作動記憶	記憶はシナプスに蓄えられるが、これが機能するには神経細胞するには神経活動を伴ったアクティブな作動記憶に変換されねばなりません。作動記憶研究の最先端を解説します。	脳研究所 教授 澁 木 克 栄
10月31日(木) 18時30分～20時	動物とヒトの脳進化と発生；三つ子の魂はどうして決まる？ (脳発生と臨界期)	動物間で脳の構造や発生過程を比較し、発生・発達の視点からヒトの脳の特徴をわかりやすく解説します。	脳研究所 教授 那 波 宏 之
11月7日(木) 18時30分～20時	こどもの脳発達：育ちのしくみと多様性(発達と脳の可塑性)	発達によって変わっていく脳の共通項と多様性について、わかりやすく解説します。	脳研究所附属統合脳機能 研究センター 准教授 山 田 謙 一
11月14日(木) 18時30分～20時	脳を変える治療(疾患治療と脳の可塑性)	脳の可塑性を運動麻痺治療に応用する研究などについて解説します。	医歯学総合病院 (脳神経外科) 医 員 倉 部 聡
11月21日(木) 18時30分～20時	学習や訓練で変わるヒトの脳(ヒト脳高次機能の可塑性)	ヒトの脳が学習や訓練によっていかにダイナミックに変化するか、音楽家やバイリンガル等の例とともに、わかりやすく解説します。	脳研究所附属統合脳機能 研究センター 助 教 伊 藤 浩 介
11月21日(木) 20時～20時15分まで閉講式を行います。			